

女性就労支援事業 【三原市】

個別事業費	3,009 千円
交付金額	1,504 千円

地域の実情と課題

女性の就労率が男性と比較して低く、結婚や出産を機に仕事を辞めるケースがあり25歳～44歳にかけてM字カーブの形状がみられる一方で、仕事と子育ての両立の推進要望は高い。
未就業女性の働く意欲は高いが、企業側は女性人材を活用するための働き方や環境をどの様に変えれば良いか分からない部分も多く、就労を希望する女性側と女性人材を活用したい企業側のニーズにギャップがある。

目的・目標

就労に意欲ある子育て期女性の就労実現を目的とし、仕事と子育ての二者択一を迫られることなく、子育ても大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を学ぶ機会を提供し、就労を後押しするとともに、就労実現の具体的な仕掛けとして、市内企業との出会いの場を創出する。
※主な目標: ()内は実績
事業に参加した女性の就労割合50% (63%)

事業の特徴

- ①女性就労ワークスクール(連続5回)の開催
専門講師によるワークスクールにより就労への一步を踏み出す「きっかけ」づくりを行う
- ②企業向け女性活躍推進セミナー(1回)の開催
専門講師によるセミナーにより多様な人材確保に向けて企業がでることについて知る機会を創出する
- ③女性就労企業説明会・相談会(就労マッチングイベント)の開催
双方のマッチングの機会を設けることで就労の実現に寄与する

連携団体

- 三原商工会議所
- 三原臨空商工会
- 三原公共職業安定所
- 広島県

事業の効果

ワークスクールに参加した19人のうち、12人の就労が実現した。「一步踏み出したことで、私にも何か出来る事があればと思えるようになって嬉しかった」「プログラムを通して、様々な方と出会えたことが一番の魅力」との声が聞かれ、目的のとおり就労の後押し
の機会となった。
事業への参加女性は、これまでハローワーク等で自発的な求職活動をしていない層であり、潜在的な就労ニーズへのプッシュ型の支援は有効であったと考える。

今後の課題

当初掲げた目標値を達成することができたため、一定の成果を挙げることができたと考える。
今後も事業を継続する中で、より高い女性の就職率を達成できるよう、子育て期等の実情に合った求人開拓及び市内企業の理解を促していく必要がある。

◆女性就労ワークスクールの開催

- 第1回 ステップアップ講座(6月19日)
- 第2回 スタイルアップ講座(6月30日)
- 第3回 ITスキルアップ講座(7月11日)
- 第4回 テレワーク入門講座(9月5日)
- 第5回 ブラッシュアップ講座(9月29日)



就労ワークスクールの様子

主に子育て期にある就労を希望する女性を対象に、
専門講師によるワークスクールを開催。

【参加者数】女性19人

子育ても大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を養い、
就労への具体的な一歩を踏み出す「きっかけ」づくりを行った。

◆企業向け女性活躍推進セミナーの開催

- 第1回(8月22日)

市内企業を対象に専門講師によるセミナーを開催。

【参加者数】企業11社

三原市内の多様な人材確保に向けて企業ができることを解説。
また、参加企業同士のグループワークなどの交流を行った。

◆女性就労企業説明会・相談会（就労マッチングイベント）の開催 （10月16日）

市内の就労を希望する女性と市内企業との企業説明・相談会を開催。

【参加者数】女性17人、企業17社

企業の一方的な説明にならないよう、双方向にコミュニケーションを取ることができるイベントを開催。最終的には本事業を通じて12名の女性の就労が実現。



就労マッチングイベントの様子



案内チラシ

【参加女性からの声】

こんなに多くの企業の方々と1度に出会えることは無いので、とても贅沢な時間でした。

【参加女性からの声】

働いている人の人柄を知るのはとても大切な事だと感じました。